

「私は大丈夫」が一番危険！ 詐欺から身を守るために！

誰もが使っているSNS、気軽なメッセージのやり取りが、人生を狂わす落とし穴になることもあります。「親しげに話しかけてきた相手が、実は詐欺師だった」、「投資の話に乗ったら、連絡が途絶えお金は無くなった」、「マッチングアプリで知り合った人と会ったら、トラブルに巻き込まれた」、「警察官から捜査を理由に送金を要求されたが、偽者の警察官だった」そんな被害が増えています。

問合先 危機管理室消防・防犯担当(4階48番窓口) ☎ 939・1190

巧妙化する 特殊詐欺の手口とは？



ニセ警察詐欺

警察官や検察官等の捜査機関を装い、犯罪の嫌疑がある旨を申し向け金銭等を要求し、誰かに相談させないようにする。

還付金詐欺

市役所や保険組合を装い、ATM操作をさせてお金を振り込ませる。LINEやSMSで事前に連絡してくる手口も増加中。

SNS型投資詐欺

LINEの投資グループや専用アプリに誘導し、多額の金銭をだまし取る。最初は儲かっているように見せかけ、信用させるのが特徴。

架空請求詐欺

インターネットや郵便を利用して不特定多数の者に対し、未払い料金があるなどの架空の事実を口実とし、料金を請求する。文書を送付するなど、現金を預金口座に振り込ませる。

SNS型ロマンス詐欺

SNSやマッチングアプリなどを通じて出会った人と実際に会うことなくやりとりを続けることで恋愛感情や親近感を抱いてしまい、金銭等をだましとられる。

詐欺を見抜くポイント！

- ・お金の話を出してくる
- ・すぐに行動するよう急かす
- ・+1や+44などから始まる国際電話番号の着信
- ・別の番号にかけ直させようとする
- ・誰にも言わないで、などと口止めされる
- ・公的機関がSNS等だけで手続きを促す

防ぐための行動！

- ・まずは確認！ 一旦電話を切って、本人や公的機関にかけ直す
- ・第三者相談！少しでも不安なら家族や警察へ
- ・セキュリティ強化！アカウントの2段階認証
- ・「自分は大丈夫」という油断が最大の敵！